

仙台北部道路  
富谷 J C T 構造物基礎調査

特 記 仕 様 書

令和 7 年 1 月

東日本高速道路株式会社  
東北支社 仙台工事事務所

## 目 次

第1章 総則 .....	1
1-1 調査等概要 .....	1
1-2 適用する共通仕様書 .....	1
1-3 テクリスへの登録 .....	1
1-4 履行期間 .....	2
1-5 資料の貸与 .....	2
1-6 受注者相互の協力 .....	2
1-7 発注者または監督員が行う協議 .....	3
1-8 計画工程表 .....	3
1-9 調査等打合せ簿の作成及び提出について .....	4
1-10 成果品 .....	4
1-11 環境保全に関する事項 .....	4
1-12 保安に関する事項 .....	5
1-13 ウィークリースタンスの取組み .....	6
第2章 業務細部に関する事項 .....	7
2-1 業務の内容 .....	7
2-2 調査計画 .....	7
2-3 総合解析 .....	7
2-4 地形地質 .....	7
2-5 調査ボーリング .....	7
2-6 孔内試験 .....	8
2-8 室内試験等 .....	8
2-9 足場仮設 .....	9
2-10 現場内運搬 .....	9
2-11 搬入路伐採等 .....	9
2-12 打合せ .....	9
2-13 交通費・日当・宿泊費（土質地質調査） .....	10
2-14 交通費（技術業務） .....	10
2-15 国土地盤情報データベース検定 .....	10
2-16 成果品 .....	10
第3章 補足事項 .....	10
3-1 設計図書の変更及び追加について .....	10
3-2 現地への立ち入り .....	10
3-3 遠隔立会 .....	11

### 添付資料

- 様式—1 計画工程表（案）
- 様式—2 履行期間通知書

## 第1章 総則

### 1-1 調査等概要

1-1-1 調査等名 仙台北部道路 富谷 J C T 構造物基礎調査

1-1-2 道 路 名 仙台北部道路

1-1-3 履行箇所 仙台北部道路  
自) 宮城県富谷市西成田 (STA. 0+00)  
至) 宮城県富谷市西成田 (STA. 54+12. 34)

### 1-1-4 主な履行内容

項 目	数 量	備 考
調査業務		
調査ボーリング オールコア	128.6 m	
標準貫入試験	122 回	
孔内水平載荷試験	7 回	
土質試験	3 シリーズ	
岩石試験	3 シリーズ	
技術業務		
実施調査計画	0.44 k m	
調査総合解析	0.44 k m	
地形地質踏査	0.44 k m	
調査ボーリング解析	128.6 m	

### 1-2 適用する共通仕様書

契約書第1条に規定する「調査等共通仕様書」（以下、「共通仕様書」という。）は、令和6年7月版とする。

### 1-3 テクリスへの登録

本業務は、「調査等における余裕期間制度」を適用しており、共通仕様書1-12-4「テクリスへ登録」の規定によらず、以下のとおりとする。受注者は、受注時または変更時において請負金額が100万円以上の調査等について、業務実績情報システム（以下「テクリス」という。）に基づき、受注・変更・完了・訂正時に業務実績情報として作成した「登録のための確認のお願い」をテクリスから監督員宛に電子メールを送信し、監督員の確認を受けた上で、以下の期限までに登録機関に登録申請しなければならない。ただし、登録期限には、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日（以下「休日等」という。）及び共通仕様書1-3「日数等の解釈」に規定する日数は含まない。

- (1) 受注時は、受注者が設定した業務の始期から15日以内
- (2) 登録内容の変更時は、変更があった日の翌日から15日以内
- (3) 完了時は、完了届提出日の翌日から15日以内

また、登録機関発行の「登録内容確認書」は、テクリス登録時に監督員にメール送信される。

なお、変更時と完了時の間が15日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できるものとする。

当該業務において調査基準価格を下回る金額で落札した場合、テクリスに業務実績情報を登録する際は、「低価格入札」にチェックした上で、「登録のための確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受けること。また、本業務の完了後において訂正または削除する場合についても同様に、テクリスから受注者にメールを送信し、速やかに発注者の確認を受けた上で、登録機関に登録申請しなければならない。

なお、テクリス登録に要する費用は受注者の負担とする。

#### 1-4 履行期間

本業務は、共通仕様書 1-13 「着手日」の規定によらず、受注者の円滑な業務執行体制の確保を図るため、事前に技術者確保等の準備を行うことができる全体履行期間及び余裕期間を設定した業務であり、発注者が示した全体履行期間内（業務完了期限までの間）で、受注者が業務の始期（業務着手日）及び終期（業務完了日）を任意に設定することができる。なお、契約上の履行期間は、契約保証取得の日の翌日から受注者が設定した業務の終期までの期間とする。

余裕期間内は、管理技術者、照査技術者又は現場作業責任者を設置することを要しない。また、業務着手以外の業務のための準備を行うことができるが、現地踏査や打合せを行ってはならない。

なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

受注者は、落札者決定から 10 日以内に、履行期間通知書（本特記仕様書様式-2）により、業務の始期及び終期を発注者へ通知しなければならない。

全体履行期間（業務完了期限）：契約保証取得の日の翌日から 300 日間（まで）

余裕期間（業務着手期限）：契約保証取得の日の翌日から 70 日間（まで）

※全体履行期間は余裕期間を含む日数

#### 1-5 資料の貸与

共通仕様書 1-15-1 に基づく貸与資料は下表のとおりとする。

なお、貸与予定日までに成果品を貸与できない場合の取り扱いは監督員と受注者間で協議の上決定するものとする。

貸与資料	調査等業務名	貸与予定日	備考
測量成果品	仙台北部道路 富谷地区道路詳細測量	契約締結から 7 日以内	電子データ
測量成果品	仙台北部道路 富谷 J C T 路線測量	令和 7 年 5 月 下旬	電子データ
地質調査成果品	仙台北部道路 成田石積地区構造物基礎調査	契約締結から 7 日以内	電子データ

#### 1-6 受注者相互の協力

共通仕様書 1-20 「受注者相互の協力」に示す「隣接または関連の調査等の受注者」は下表のとおりとする。なお、下表は現時点のものであり、変更が生じた場合は監督員より通知する。

調査等業務名	履行期間	受注者	発注機関	備考
仙台北部道路 富谷地区橋梁検討業務	令和 6 年 6 月 25 日 ～令和 7 年 6 月 19 日	㈱建設技術研究所	東日本高速道路㈱東北支社	関連調査
仙台北部道路 富谷 J C T 路線測量	未定	未定	東日本高速道路㈱東北支社	工事区間の重複

舗装詳細設計 (調査名未定)	未定	未定	東日本高速道路(株)東北支社	工事区間の重複
仙台北部道路 富谷工事	未定	未定	東日本高速道路(株)東北支社	工事区間の重複

#### 1-7 発注者または監督員が行う協議

発注者または監督員が行う協議で本業務に関連する主な施設及び管理者、必要な協議の有無並びに協議の完了予定時期は、下表のとおりとする。

なお、本項目に記載する協議は、受注者が共通仕様書 1-16「関係官公署及び関係会社への手続」に従って行う協議以外である。

また、本業務の検討内容に応じて必要な協議の有無並びに完了予定時期を変更する場合がある。

##### (1) 河川関係

位 置	河川・水路名	管理者	必要な協議	協議完了 予定時期
STA. 23、STA. 32 付近	一級河川 明石川	宮城県	河川区域内作業 に関わる協議	令和 7 年 4 月予定

##### (2) 道路関係

区 間	管理者	必要な協議	協議完了 予定時期
仙台北部道路 利府しらかし台 IC～富谷 JCT 間	東日本高速道路(株) 東北支社 仙台東管理事務所	道路敷地内への立入	令和 7 年 4 月予定

##### (3) 民地関係

対象ボーリング番号	管理者	必要な協議	協議完了 予定時期
BV-1～Bv-9	地元関係者 (地権者)	敷地内への立入・借地協議	令和 7 年 4 月予定

#### 1-8 計画工程表

##### 1-8-1 計画工程表の記載事項

共通仕様書 1-14-1「作業計画書の提出」(2)に示す作業計画書中の計画工程表(本特記仕様書様式-1)の作成にあたっては、下記の項目ごとに作業完了時期を明示し提出するものとする。ただし、記載する項目は監督員と受注者とで協議の上変更することができるものとする。

計画工程表は本特記仕様書 1-5「資料の貸与」に示す資料の貸与時期、本特記仕様書 1-7「発注者または監督員が行う協議」に示す協議完了予定時期、共通仕様書 1-9-3「照査の実施」に基づく照査の実施時期、及び共通仕様書 1-22「打合せ」に規定する打合せの実施時期についても十分検討の上作成するものとし、これらの事項は計画工程表に記載するものとする。

種 別		項 目	備 考
土質地質詳細調査	構造物基礎調査	調査ボーリング	
		標準貫入試験	
		孔内水平載荷試験	
		土質試験	
		岩石試験	
		実施調査計画	
		調査総合解析	
		地形地質踏査	
		調査ボーリング解析	
		打合せ	
		報告書作成	

#### 1－8－2 計画工程表に基づく作業状況の報告

受注者は共通仕様書 1－2 2 「打合せ」に規定する打合せの実施時に、作業の実施状況を計画工程表に記載した上で監督員に報告をするとともに、共通仕様書様式第 1－4 号「調査等打合簿」に添付するものとする。

なお、受注者は前項で規定した完了時期が著しく変更となる場合は、共通仕様書 1－1 4－3「変更作業計画書」に基づき変更計画工程表を監督員に提出するものとする。また、その結果調査等内容の変更が生じる場合の取扱いは受注者と監督員とで協議の上決定するものとする。

#### 1－9 調査等打合せ簿の作成及び提出について

受注者による共通仕様書 1－2 2 「打合せ」に規定する調査等打合簿の監督員への提出は、打合せ後 7 日以内（休日等を除く）に監督員に提出するものとする。

また、監督員は受注者より提出のあった調査等打合簿を受領後 7 日以内（休日等除く）に受注者へ返送するものとする。

#### 1－1 0 成果品

共通仕様書 1－4 6－1 「成果品」よらず下記の通りとする。

- （1）受注者は、業務完了届提出の概ね 3 0 日前までに、成果品をとりまとめた上で調査等打合せ簿にて監督員へ報告するものとする。
- （2）成果品は、設計図書及び監督員の指示に従って作成し、提出しなければならない。
- （3）報告書等の成果品の作成にあたっては、各章各節によるほか、将来の安全や維持管理の観点から、道路の計画・設計・施工・維持管理など（当該調査等以降に実施される業務）に配慮すべき事項について整理し、とりまとめるものとする。なお、これに要する費用については、関連項目に含むものとする。

#### 1－1 1 環境保全に関する事項

##### 1－1 1－1 砂塵等の防止

受注者は、車両の走行による砂塵等の被害を第三者に及ぼさないよう善良な管理を行うものとする。

#### 1-1-1-2 高速道路の環境美化

受注者は、調査等業務に伴う調査施工の実施にあたり、その調査区間内のゴミ等を除去する等、高速道路の環境美化に努めなければならない。

#### 1-1-1-3 騒音等に関する配慮

受注者は、調査等業務に伴う車両の騒音対策について、近隣の地域住民へ十分な配慮を講じて施工を行わなければならない。

#### 1-1-1-4 環境保全に関する費用

本特記仕様書 1-1-1「環境保全に関する事項」の費用は諸経費に含むものとし、別途支払は行わないものとする。

#### 1-1-2 保安に関する事項

受注者は自らの管理下にある車両の運行にあたっては、事故等を防止しなければならない。

##### 1-1-2-1 調査用車両の運行速度

一般道の人家連担区域等や高速道路上における運行速度は、法定速度若しくは規制速度厳守するとともに、過積載の防止等法令を遵守するものとする。

##### 1-1-2-2 調査用車両の区別

受注者は調査に使用する車両と一般車両の区別をするため、以下に示す調査用車両の標示と同等以上の標示板を設置するものとする。なお、標示内容の変更を監督員が指示した場合、受注者はその指示に従わなければならないものとする。

また、高速道路の交通規制内へ出入りする全ての車両は、一般車両と識別できるよう黄色回転灯を備えたものとする。

#### 調査用車両標示板参考図

仙台北部道路  
富谷 JCT 構造物基礎調査  
調査用車両  
受注者名 (□□)

材質：耐水合板、強化プラスチック、  
布製又はラミネート加工した印刷物等

色彩：黄色地に黒文字

寸法：前部標示板

乗用車等：A 4 サイズ

トラック、ダンプ等：B 4 サイズ

後部標示板

トラック、ダンプ等：30cm×90cm

その他の全車両：A 3 サイズ

字体：丸ゴシック体

(受注者名の文字の大きさは他の文字より大きめにする)

□□：受注者車両の通し番号

### 1-13 ウィークリースタンスの取組み

ウィークリースタンスの取組みとは、受発注者間における仕事の進め方として、一週間における受発注者間相互のルールや約束事、スタンスを目標として定め、計画的に業務を履行することにより、業務環境等を改善し、より一層魅力ある仕事、職場の創造に努めることを目的とした取組みであり、本業務において積極的に取組むこととする。

取組内容は下記事項を標準として、契約締結後の打合せにおいて監督員と受注者とで協議の上実施する取組み事項を定め、調査等打合簿を作成し相互に確認するものとする。

あらかじめ定めた取組み事項を実施できない事象が生じた場合の取扱いについては、その都度監督員と受注者と協議の上定めるものとする。

#### 【取組み内容(標準例)】

- ① 月曜日を依頼の期限日としない
- ② 水曜日は定時の帰宅に心掛ける
- ③ 土・日曜に休暇が取れるように金曜日には依頼しない
- ④ 昼休みや午後5時以降からの打合せをしない
- ⑤ 定時間際、定時後の依頼、打合せをしない
- ⑥ 金曜日でも定時の帰宅に心掛ける



## 第2章 業務細部に関する事項

### 2-1 業務の内容

本業務は、仙台北部道路の構造物箇所の基礎地盤を確認するために実施する調査である。業務にあたっては共通仕様書第3章「土質地質調査」を適用する。

### 2-2 調査計画

共通仕様書3-4-2（1）「実施調査計画」に示す区分等は、次のとおりとする。

種 別	区 分	範 囲	備 考
実施調査計画 (A)	第一次詳細調査	仙台北部道路 利府しらかし台 IC～富谷 JCT STA. 16+00～STA. 38+00	

実施調査計画（A）は共通仕様書3-4-2（1）によるものとするが、内容について監督員の確認を受けるものとする。

### 2-3 総合解析

共通仕様書3-4-3（2）「調査総合解析」に示す区分等は、次のとおりとする。

種 別	区 分	範 囲	備 考
調査総合解析 (A)	第一次詳細調査	仙台北部道路 利府しらかし台 IC～富谷 JCT STA. 16+00～STA. 38+00	

### 2-4 地形地質

共通仕様書3-4-4（2）「地形地質踏査」に示す区分等は、次のとおりとする。

種 別	区 分	範 囲	備 考
地形地質踏査 縮尺 1/1,000	詳細調査 (縮尺 1/1,000)	仙台北部道路 利府しらかし台 IC～富谷 JCT STA. 16+00～STA. 38+00	平地・丘陵地

### 2-5 調査ボーリング

#### 2-5-1 調査ボーリング

調査ボーリングは調査位置図に示す箇所で行うものとするが、地形地質踏査結果等により調査実施位置を精査しボーリング箇所の見直しが必要であると判断した場合は監督員にこれを報告するものとし、その後の取扱いについては監督員と受注者間で協議の上決定するものとする。

#### 2-5-2 調査ボーリング区分

調査ボーリング区分は、下表のとおりとする。

種別・規格		コア種別	せん孔深度	せん孔方向
φ 66 mm	砂・砂質土	オールコア	50m以下	鉛直下方
	礫混じり土砂	オールコア	50m以下	鉛直下方
	軟岩	オールコア	50m以下	鉛直下方

### 2-5-3 調査孔閉塞

調査ボーリング終了後、ボーリング孔を粘土等で閉塞するものとする。

### 2-5-4 給水

調査ボーリングにおける掘削は有水ボーリングで行うため、給水（給水ポンプ設置または車両給水）をしながら行うものとする。

種 別	対象ボーリング 番号	備 考
給水ポンプ	Bv-5、Bv-6	
車両給水	Bv-1～Bv-3、Bv-8～Bv-9	

※水源までの距離が 20m 未満の場合の給水費はせん孔に含むものとする。

### 2-5-5 水田等での油対策

水田等で調査ボーリングを行う際にはボーリング機械の油が拡散しないよう十分な養生を行うものとする。

### 2-5-6 調査ボーリングの打ち止め位置

調査ボーリングの打ち止め位置は、監督員と受注者とで協議の上決定するものとする。

### 2-5-7 標準貫入試験

標準貫入試験の内訳は、下表のとおりとする。

土質区分
砂・砂質土
礫混じり土砂
軟岩

## 2-6 孔内試験

### 2-6-1 孔内水平載荷試験

孔内水平載荷試験の内訳は、下表のとおりとする。

載荷圧力区分	対象ボーリング番号
中圧載荷（2.5 MN/m <sup>2</sup> を超え 10 MN/m <sup>2</sup> 以下）	Bv-1、Bv-3、Bv-9

## 2-8 室内試験等

### 2-8-1 土質試験

土質試験の試験項目及び試験方法は次のとおりとする。

試験項目	試験方法	対象ボーリング番号
土粒子の密度試験方法	JIS A1202	Bv-1、Bv-3、Bv-9
土の粒度試験（ふるい分析）試料 0.5kg 以下	JIS A1204	
土の粒度試験（ふるい分析～沈降分析）試料 0.5kg 以下		

## 2-8-2 岩石試験

岩石試験の試験項目及び試験方法は次のとおりとする。

試験項目	試験方法	対象ボーリング番号
岩石の一軸圧縮試験	JIS M 0302	Bv-1、Bv-3、Bv-9
岩石の超音波伝播速度測定（自然状態）	JGS 2110	
岩石の密度試験	JGS 2132	

## 2-9 足場仮設

### （1）足場仮設の区分

足場仮設の区分は次のとおりとする。

種別・規格	対象ボーリング番号	備考
平坦足場 高さ 0.3m以下	Bv-3～Bv-7	
平坦足場 高さ 0.3m超	Bv-8	
傾斜地足場 15° ～30° 未満	Bv-2、Bv-9	
傾斜地足場 30° ～45° 未満	Bv-1	

## 2-10 現場内運搬

### （1）現場内小運搬

現場内小運搬の種別及び数量は、下表のとおりとする。

内訳書の項目	種 別	対象ボーリング 番号	備 考
現場内小運搬	クローラ	Bv-2、Bv-8	総運搬距離：100m 超 300m 以下
	モノレール	Bv-1、Bv-9	総運搬距離：300m超 500m以下 総設置距離：100m超 200m以下

## 2-11 搬入路伐採等

調査箇所においては次のとおり立木伐採や下草刈等が必要となる。

種 別	対象ボーリング 番号	備 考
搬入路伐採等	Bv-1、Bv-2、Bv-8、Bv-9	伐採換算距離：483m

## 2-12 打合せ

本業務における打合せ回数は、業務内容確認検査及び完了検査を含め6回とする。打合せは、技術打合せのみとし、打合せの検測数量は1式とする。監督員が打合せ回数の追加を指示した場合や業務の追加、変更に伴い打合せを追加する必要が生じる場合の取扱いが監督員と受注者とで協議の上決定するものとする。

打合せ場所は、東日本高速道路株式会社仙台工事事務所で行うものとする。ただし、打合せ場所の変更を監督員が指示した場合は、受注者はこれに従わなければならない。

### 2-13 交通費・日当・宿泊費（土質地質調査）

交通費・日当・宿泊費（土質地質調査）には土質調査の現場作業に従事する労務員すべての交通費・日当・宿泊費を含むものとし、現地踏査により現場作業の数量に大幅な変更が生じた場合、交通費・日当・宿泊費の増減に伴う費用については別途監督員と協議するものとする。

### 2-14 交通費（技術業務）

交通費（技術業務）とは、技術業務に関する必要な交通費のことをいう。

なお、業務に大幅な変更が生じた場合、交通費の増減に伴う費用については、別途監督員と協議するものとする。

また、ウェブ会議システム等を活用して打合せを実施する場合の交通費についての取扱いは監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

### 2-15 国土地盤情報データベース検定

共通仕様書3-19「国土地盤情報データベース検定」に示す国土地盤情報データベース検定は、調査ボーリング1本当たりの検定費用を2,000円（ボーリング責任者が地質調査技士の資格を有する場合に限る。）とする。なお、調査ボーリングの数量は9本とし、ボーリング本数の増減及び資格区分の相違に伴う請負代金額の変更は、監督員と受注者との協議し定めるものとする。

また、共通仕様書3-19「国土地盤情報データベース検定」に示す、登録するボーリングデータの公開区分を下表に示す。

位 置	ボーリング名	公開区分	備 考
STA. 16+00～38+00	Bv-1～Bv-9	公開	

### 2-16 成果品

成果品については共通仕様書1-45-5の規定に基づくものとし、報告書の表紙は、赤色（色番号：バクラム271）、黒文字製本とする。

## 第3章 補足事項

### 3-1 設計図書の変更及び追加について

下記に示す事項については、関連する業務の内容を変更又は追加する場合がある。

なお、これらに要する費用は監督員と受注者として協議し定めるものとする。

- （1）現地状況及び関連機関・地元関係者との協議によるボーリング延長、調査位置の変更または追加
- （2）調査実施に伴う踏み荒らし補償費等の追加
- （2）調査ボーリング状況による各種室内試験頻度等の変更または追加
- （3）調査ボーリング状況による各種解析業務の変更または追加
- （4）現地状況及び関連機関との協議による足場変更または追加

### 3-2 現地への立ち入り

本業務において現地に立ち入る場合は、事前に監督員と十分な打合せを行うものとし、万一不測の事態が生じた場合には、速やかに監督員に連絡し、その指示に従うものとする。

### 3－3 遠隔立会

遠隔立会とは、遠隔立会実施要領（令和５年１０月 東日本高速道路株式会社）に基づき、共通 仕様書 1－23「検査及び立会い」に定める検査及び立会いについて、デジタル通信技術を活用し遠隔地からの確認、検査及び立会いの実施により、受注者及び発注者の調査等管理業務の効率化による生産性向上を図るものである。遠隔立会の実施有無、実施項目、費用等については、調査着手前に監督員と協議し定めるものとする。